

平成 28 年度 東京大学まちづくり大学院演習第1(日常生活圏)

准教授 城所 哲夫
非常勤講師 須永和久

1. 演習の狙い

- ・日常生活圏レベルの広がりを持つ地区を対象とするまちづくりの技法について、演習する。
- ・昨年度に引き続き、目黒区自由が丘駅周辺を演習の対象地とする。
- ・対象地区は、東京西郊の商業集積地として、高い人気を誇っており、地元の商店街組織（振興組合、まちづくり会社等）がイベント開催や街並み誘導等活性化に積極的に取り組んでいる。
- ・一方、現地においては、道路、歩行空間、オープンスペースの不足、商業と住宅の調和、鉄道による分断などの課題を抱えており、また、いくつかの地区で再開発の動きもある。
- ・そこで、上記の状況を踏まえて、2030 年代に向けた持続可能な商業地としてのあり方及びその実現手法を検討提案することを通じて、地区単位のまちづくりの現況課題分析から計画及び実現手法の流れ、考え方、組み立て方法を習得することを演習の目的とする。

2.カリキュラム

①対象都市

- ・目黒区自由が丘駅周辺

②実施期間

- ・平成 28 年 10 月 1 日から 11 月 19 日の毎週土曜日、午後 1 時から 6 時。8 回

③演習の進め方

- ・将来を見通して、自由が丘駅周辺のまちづくりのメインテーマについて検討し、方向性を提案するとともに、メインテーマを実現する具体的なプロジェクトを提案する。
- ・1 グループ 4~5 人とし、3~4 グループに分けて検討する。
- ・メインテーマを必ず検討し、プロジェクトは、1 グループで 2 以上検討する。プロジェクトは重複しないように調整する。可能であればプロジェクトを実現するソフトな仕組み（タウンマネジメント）まで含めて検討提案する。

○メインテーマ

「2030 年代を目指した自由が丘の再構築」

- ・周辺商業地との差別化、商業地の構造、商業集積のあり方、ターゲットなど

○プロジェクト

- ・メインテーマを実現するための具体的なプロジェクトを検討する。以下例示

プロジェクト 1 : 「自由が丘らしい再開発、建物更新」

プロジェクト2：「都市計画道路沿道まちづくり」

プロジェクト3：「鉄道連続立体化を活かしたまちづくり」

プロジェクト4：学生からの自由提案

④スケジュール(予定)

・8回実施する。

□第1回：10月1日(土)：オリエンテーション(現地)

□第2回：10月8日(土)：テーマ検討、グループ分け

□第3回：10月15日(土)：メインテーマ分析作業

□第4回：10月22日(土)：課題分析結果発表

□第5回：10月29日(土)：プロジェクト検討作業

□第6回：11月5日(土)：メインテーマ及びプロジェクトの中間発表

□第7回：11月12日(土)：成果作成作業

□第8回：11月19日(土)：最終発表

演習終了後、地元プレゼンテーションする機会を設ける可能性がある。

⑤成果物(予定)

ア. 体裁

・メインテーマ及びプロジェクトにつき A3 パネル 10枚 パワーポイントで作成

イ. 内容

・メインテーマ：課題分析、課題解決の方針、地区の将来像

・プロジェクト：実施内容、実施主体、実施に当り必要な制度手法・財源等

⑥体制

ア. まちづくり大学院

・城所哲夫 准教授

・須永和久 非常勤講師(株式会社計画技術研究所代表取締役)

・林一則 Jスピリット専門委員(まちと建築デザイン事務所)

イ. 協力者(予定)

・Jスピリット

・自由が丘商店街振興組合

・東急電鉄